

## 中華人民共和国王毅國務委員兼外相発言に対する抗議決議

中華人民共和国の王毅國務委員兼外相が、11月24、25日来日し、菅総理や茂木外相らと会談を行った。

11月24日の日中外相会談後の記者会見で、尖閣諸島周辺海域における中国海警局船の活動をめぐり中国側に自制を求めたことに対し、王毅國務委員兼外相は、真相が分かっていない一部の日本漁船が魚釣島周辺の敏感な水域に入る事態が発生しており、中国側としてはやむを得ず、非常的な反応をしなければならぬと反論し、引き続き自国の主権を守っていくと強調した。

また、尖閣諸島周辺海域に日中双方の公船以外の船舶を入れない事で事態の改善を図る事を提案した。

尖閣諸島は歴史的にも国際法上も日本固有の領土であり、これらの発言及び提案は、本市をはじめ日本の漁船が尖閣諸島周辺海域で操業する権利を侵害する発言であり断じて容認出来ない。

中国海警局船の尖閣諸島領海内にて操業する日本の漁船に対する度重なる接近追尾や接続水域を航行する日数が、今月19日で過去最高となる通算300日に達するなど事態は格段とエスカレートしている。

よって本市議会は、中華人民共和国の王毅國務委員兼外相の尖閣諸島に関する発言と提案及び日本漁船の正当な漁業活動への侵害を繰り返す中国海警局船の活動に対し厳重に抗議する。

令和2年11月30日

石 垣 市 議 会

宛先 中華人民共和国国家主席、中華人民共和国外相、中華人民共和国駐日本国特命全権大使